

礼文の森から

宗谷森林管理署
礼文森林事務所

礼文島の皆様 初めまして!

ご挨拶が遅くなりましたが、平成26年4月より礼文森林事務所に森林官として赴任して参りました井田悠一郎（いだゆういちろう）と申します。
出身は群馬県高崎市で、採用5年目、北海道も5年目に入りました。

「礼文の森から」の発行を通して、国有林の活動や礼文島の自然について知ってもらい、より親しんでいただけたら幸いです。ご意見ご要望があればドシドシお寄せください。

一緒に、礼文島をより魅力的な島にしていきたいと思います！

よろしくお願い致します。



GSS活動開始!

5月20日よりGSS（グリーンサポートスタッフ）が活動を開始しました。島内での巡視やマナー啓発、歩道の軽整備などの活動を行っています。それではGSSの紹介をいたします。



GSSの桐山等（きりやまひとし）と申します。出身は岐阜県です。礼文島は今回が初めてです。

礼文島にはその素晴らしい自然に魅了され毎年多くの方々を訪れます。その一方で人為的な荒廃箇所も多発しています。

GSSとして遊歩道上の危険箇所の把握やルール違反など、巡視やマナー啓発、歩道整備等の活動を通じて皆様と共に礼文島の美しい自然がいつまでも保たれるよう努力していきたいと思っていますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。



観光客の方の質問に答える桐山氏 →



治山工事について



元地において今春発生した土砂崩れの影響で、土砂とともに流出した雪崩防止柵の撤去及び土砂流出防止のためのシート敷設及び土のう設置等の応急対策工事については無事終了しました。今後、測量等を行い、具体的な対策を行う予定となっております。



また、起登臼地区において行われていた雪崩防止柵の新設工事についても、117基すべての設置が終了しております。近隣の皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

踏み分け道の取り扱いについて

礼文島自然歩道協働管理体制構築検討会の2年にわたる話し合いの中で「礼文島トレイルコース」として7つの公式コースが決定され、関係者の協働による歩道の管理を行うこととなりました。



これまで礼文島民の皆様や観光客の皆様楽しんでいただいていた「ペンサシの丘」「月の丘」「星の丘」「ゲンゲの丘」「キンレイカの丘」「コザクラの丘」「ピーク268」と呼ばれる道については、公式

なコースではなく【踏み分け道】という扱いとなり、今後、その取り扱いをどうするか議論をしていくこととしております。

これらの踏み分け道については、管理等に關して不明確な部分が多く、またこれまでの入り込みにより植生の荒廃が激しい箇所もあることから、通行について規制をさせていただいております。



50年後、100年後を見据えて、礼文島の自然を後生に残していくためにも、皆様のご理解とご協力、よろしくお願い致します。